

関西石川県人会連合会

県人会だより

2025年度 第1号
令和7年 6月

那谷寺



©石川県観光連盟



関西石川県人会連合会
第9代会長 東 孝司

千枚田



©石川県観光連盟

○能登互助会総会

能登互助会の総会が5月12日に大阪市のホテル日航大阪で開催されました。総会では、谷内田栄次会長が「長年培ってきた絆を大切に活動に取り組んでいきたい」と挨拶して、兵庫達夫関西輪島会会長や宮下為幸中能登町長らが挨拶しました。
懇親会では、南昭榮中能登町議長の発声で乾杯し、多く



の協賛が集まった抽選会で場が盛り上がりました。
中松勝彦加賀浴友会会長の万歳三唱のあと、辻口信良連合会副会長の石川アイで中締めし、閉会となりました。

○東大阪ふれあい祭り

5月11日、東孝司連合会長、東大阪石川県人会、京都石川県人会、関西珠洲会のメンバーなど有志が、大阪府東大阪市開催の「市民ふれあい祭り」に参加しました。このお祭りは同市最大のイベントとなつていますが、残念ながら、今回で最後となる見込みです。布施地区のパレードでは連合会の応援幕を掲げて、能登半島地震復興支援のPR等を実施しました。



関西だより

○春のセンバツ応援

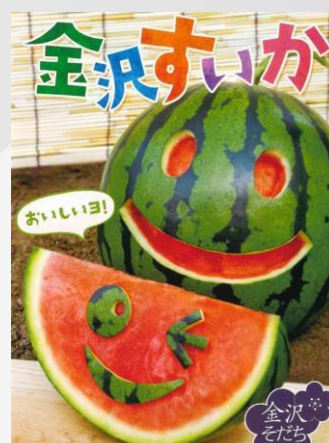
日本航空石川が出場しました。1回戦で北海道の東海大札幌高校と対戦しました。試合は互いに点を取り合うシーソーゲームで、最後は、一回戦突破まで「あと一球」と迫りました。しかし、相手校に逆転を許し、6対7で惜しくも敗戦しました。県人会では、33名もの大応援団を結成して、県勢の活躍を祈り、懸命に声援を送り続けました。



県事務所から

スイカが美味しい！

石川県は、スイカの産地であり、県内で最も生産量の多い青果物になります。中でも京阪神圏においては、6月から7月にかけて石川県産スイカの市場シェアが最大となり、例年多くの消費者からご好評をいただいております。
令和7年産スイカは、6月10日頃より初出荷を予定しており、6月中旬には京阪神圏内の量販店や青果店等でお買い求めいただける見込みです。
今年は天候にも恵まれ、生育は極めて順調に推移しており、糖度の高い、たいへん品質の良いスイカが期待されております。ぜひ、これから暑くなる時期に、石川県が誇る旬の味覚をご賞味いただきたく、心よりご案内申し上げます。



会長ご挨拶

関西石川県人会連合会

第九代会長

東 孝司

会員の皆様には、お元気で活躍のこととお慶び申し上げます。また、日頃から、関西石川県人会連合会の活動の多大なご支援、ご協力を頂き、感謝申し上げます。

昨年発生した能登半島地震により被災された皆さまへ、心よりお見舞いを申し上げます。故郷が大きな困難に直面する中で、私たち関西に住む石川県人としても、義援金募金活動など支援を行ってまいりました。今回の総会では、関西に一時避難されている方々もお招きし、共に未来を考える機会となっております。皆さまが安心して暮らしていけるよう、連合会としてこれからも支え合っていきたいと考えております。

また、8月27日に大阪関西万博で開催される「石川の日」では、輪島の御陣乗太鼓など石川県の「祭り」が一斉に集合し披露されると聞いております。豊かな文化を発信し、多くの方々とその魅力を共有する絶好の機会となります。当日にはぜひご参加いただきます。

だき、石川県の魅力を体感していただければ幸いです。

さらに、大相撲では、津幡町出身の大の里関が横綱昇進、という本場に嬉しいニュースが飛び込んできました。8年ぶりの日本人横綱、初土俵から戦後最短で横綱昇進という我々石川県人にとって誇るべき成果を共有できることも大変喜ばしく思います。出身地である石川県への注目が国内外に広がることを期待しております。

関西石川県人会は、石川県にゆかりの皆さまとご家族が交流し、助け合う場として長年にわたり活動が続けてまいりました。今後も、復興支援をはじめめとして、さまざまな活動を展開し、会員の皆さまの絆をより強固なものにできれば、と思っております。関西に住んでいても、私たちの心は常に故郷とともにあります。その想いを胸に、今後も活動が続けてまいります。皆さまのご健康とご活躍を心よりお祈り申し上げます。ともに、関西石川県人会のさらなる発展を共に築いていくことを願ひ、ご挨拶とさせていただきます。

県人会から

○大阪能登互助会新年会

関西在住の能登出身者が中心となる大阪能登互助会の新年会は、1月14日に大阪市のホテル日航大阪で開催されました。来賓を含めて30名が会員同士の交流を深めました。昨年の総会で会長に就任した谷内田栄次氏が「先輩方の功績に感謝し、よりよい会にしていきたい」と挨拶しました。東孝司連合会会長が祝辞を述べました。山下幸則県大阪事務所長の発声で乾杯し、山本三郎相談役（前会長）が中締めをして、閉会しました。



○関西石川県人会連合会 役員新年互礼会



関西石川県人会連合会の役員新年互礼会は、1月22日に大阪市のホテルモンテレグラスミヤ大阪で開かれ、28名が出席しました。

○関西能美市の会総会

坂神社の野村明義宮司が「京都と石川の神縁」をテーマとした講演と、出席者が楽しめるイベントが多く、抽選会もあり、参加者は終始賑やかな雰囲気でした。辻口信良連合会副会長の「石川アイ」三唱で閉会しました。

関西能美市の会総会は、5月10日に大阪市のプリムローズ大阪にて19名が参加しました。総会では、井出能美市長が来賓祝辞を述べ、田中能美市議会議長が乾杯の発声を行いました。懇親会では、井出能美市長から恒例の能美市の市勢紹介をしました。能美市から参加者全員の特産品のお土産が用意され、参加者から大変好評でした。西居厚能美市の会新顧問（前会長）が中締めの挨拶をして、閉会となりました。

○加賀浴友会新年会

関西在住の加賀出身の公衆浴場業者らで構成されている加賀浴友会の新年会が1月24日に大阪市のニューミューン南大使館にて来賓含めて約50人が出席して、開催されました。中松勝彦会長挨拶の後、東孝司連合会会長、田中宏司大阪信用金庫副理事長らが祝辞を述べました。谷内田栄次能登互助会会長の発声で乾杯し、西野榮二氏が万歳三唱し、無事閉会しました。



○京都石川県人会新年会

京都石川県人会の新年会は、1月25日に京都市のホテルモントレ京都で、第19代前田家当主前田利宜氏ら来賓を含めて約百名が参加して開催されました。竹下義樹会長は、「石川を元気づけるために、もっと考えていこう」と挨拶しました。総会冒頭には、落語家の桂文福氏が相撲甚句の披露、七尾市出身の八

